本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

アラーム・時報／デュアルタイム／タイマー／ストップウオッチ

1846*JA

取扱説明書

1846

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

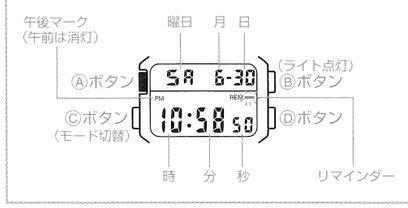
分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。



★リマインダーのON／OFF
注意を促したいときや心に留めておくことがあるときに“▬”を点滅させておくと便利です。
時刻・カレンダーモードのとき、Ⓓボタンを1～2秒間押し続けると、リマインダーON（“▬”点滅）になります。
※“▬”が点滅しているとき、Ⓓボタンを1～2秒間押し続けると、リマインダーOFF（“▬”消灯）に戻ります。

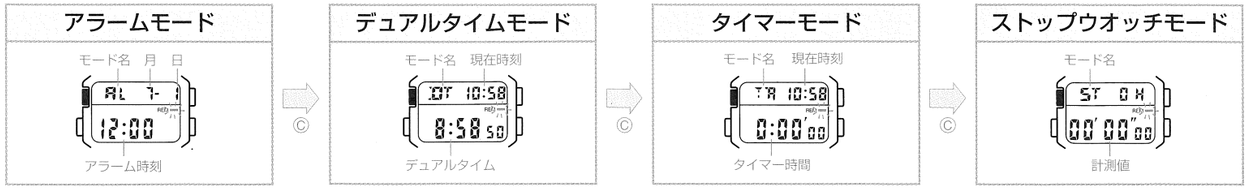
★曜日の見方

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

■ ライト点灯について

Ⓑ ボタンを押すと、押している間ライトが点灯します。
※ 直射日光下では、発光が見えにくくなります。

Ⓒ ※各モードでⒶⒷⒹボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 時刻・カレンダーのセット

(1) Ⓐ ボタンを押します
➡「秒」が点滅します。



(2)「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正
時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します
➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



(3)「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します
➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. Ⓓ ボタンを押します
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または24時間制（24H）にご注意ください。
※「年」は1985～2029年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

★12／24時間制表示切替について
表示が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとに12時間制（午前／午後PM）と24時間制（24H）とが切り替わります。

(4) Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

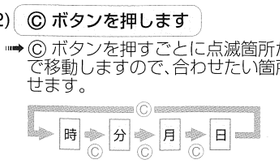
アラームは時・分・月・日をセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。
また毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのとき、Ⓐ ボタンを押します
➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONとなります。



(2) Ⓒ ボタンを押します
➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





(3) Ⓓ ボタンを押します
➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または24時間制（24H）にご注意ください。
※ 基本時刻を24時間制にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

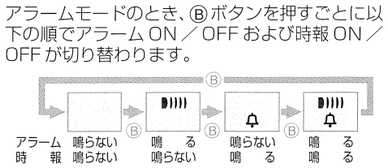
※「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

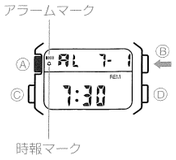
- **毎日**鳴らしたいとき ……「時・分」のみセット
- **1ヶ月間毎日**鳴らしたいとき ……「月・時・分」をセット
- **毎月同じ日**に鳴らしたいとき …「日・時・分」をセット
- **指定月日**に鳴らしたいとき ……「月・日・時・分」すべてセット

(4) Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに以下の順でアラームON／OFFおよび時報ON／・OFFが切り替わります。





■ 鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるにはⒷⒸⒹボタンのいずれかを押します。

■ モニターアラーム

アラームモードでⒹボタンを押している間、電子音が鳴ります。

デュアルタイムの使い方

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう１つの時刻をセットできる機能です。
※「秒」は現在時刻の「秒」と連動して表示されます。

■ デュアルタイムのセット

(1) デュアルタイムモードのとき、Ⓐボタンを押します

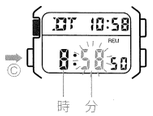
➡「時」が点滅します。



(2) Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

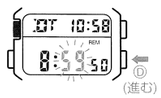
時 ⇔ 分（Ⓒ）



(3) Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



(2)～(3)の操作を繰り返して、「デュアルタイム」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制（24H）にご注意ください。

★ 12／24 時間制表示切替について

時刻・カレンダーモードとは別に12／24時間制の切り替えができます。表示が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとに12時間制(午前／午後PM)と24時間制(24H)とが切り替わります。

(4) Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方

タイマーは１秒単位で 24 時間までセットできます。
セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

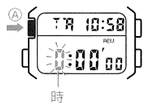
●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。
※ オートリピートタイマーを選ぶと“AUTO”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

(1) タイマーモードのとき、Ⓐボタンを押します

➡「時」が点滅します。



(2) Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

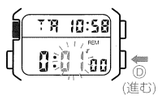
時 ⇒ 分 ⇒ 秒（Ⓒ）



(3) Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。

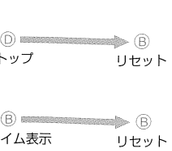


(2)～(3)の操作を繰り返して、「タイマー時間」を合わせます。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは表示を“0:00' 00”にします。

★ タイマー方法の選び方

表示が点滅しているとき、Ⓑボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマー（“AUTO”マーク点灯）とが切り替わります。

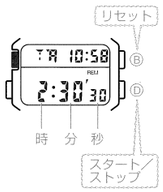


(4) Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方

タイマーモードのとき、Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします



➡計測は 1 秒単位で行ないます。

※ 計測ストップ後 Ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

※ ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。
* オートリピートタイマーで、タイマー時間が 10 秒以下のとき、電子音が鳴るのは 1 秒間となります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには ⒷⒸⒹ ボタンのいずれかを押します。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測でき、以後自動的に 0 に戻って計測し続けます。

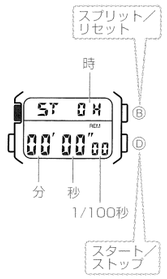
■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

➡計測は 1/100 秒単位で行ないます。

※ 計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（“SPLIT”マーク点灯）。

※ 計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。



●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

ご使用上の注意

防水性●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

磁気●磁気の影響はありません。

薬品類●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ お手入れについて

お手入れのしかた●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると●「サビ」
ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

■ 電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有料となります）。

■ 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：平均月差±30秒以内
基本機能：時・分・秒、午前／午後（PM）／24時間制表示（24H）、月・日・曜日、フルオートカレンダー（1985～2029年）
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝時・分・月・日
　電子音＝20秒間
　時報　毎正時に2回電子音で報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝1秒　セット単位＝1秒　計測範囲＝24時間
　タイムアップを10秒間の電子音で報知
　リピートタイマー／オートリピートタイマー
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
　計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、ライト、
　リマインダーON／OFF設定、モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-2016（電池別途販売）
電池寿命：約7年
　（1日あたりライト1秒間、電子音を20秒間使用した場合）